



広域広報

# おきたま

12/15

No.20

平成10年(1998年)



## く り え い と CRE8



本組合が宮島町大字夏茂北内に建設を進めていた新ごみ処理施設が完成し、9月1日に火入れ式を行い、仮稼働を始めました。最新技術を取り入れた新施設は24時間稼働で、処理能力は1日25万t、宮島町5町のごみを一括して焼却処理します。

この新ごみ処理施設は、地球環境を守るため公害対策も万全を期しており、最新鋭の設備により問題になっているダイオキシンの発生については、0.1ナノグラム以下(ナノグラムは十億分の一グラム)を目標値としています。

このほか、ごみ焼却によって発生した熱はボイラーで回収してタービンで発電。この電力で施設の必要量をまかなうほか、余熱の利用も検討されています。

また、新ごみ処理施設の名称は平成11年4月から「千代田クリーンセンター」となり、愛称は「CRE8(くりえいと、Cはクリーン、Rはリサイクル、Eはアース(地球)、8は置賜8市町を意味します)」で、イメージキャラクターは右上図のとおりです。



千代田清掃事業所

新施設へパトンタッチ!!



長井清掃事業所

# 『ごみについて考えよう』

## 深刻なごみ問題

ごみの処理量は表一のとおり年々増え続けています。平成九年度で五万八千五百五十九トに達しこれは圏域人口二十五万八千六百六人で見ると、住民一人あたり約二百三十三kgものごみを出している計算になります。

このごみをいかにして減らし、ごみの分別回収により再資源化(リサイクル)をどのように進めるか。地球規模の環境問題が叫ばれる中において私たち一人ひとりが真気に考え、取り組んでいくことが今、必要になってきます。

## 多額なごみ処理経費

ごみの処理経費は、市町の多様な財政負担によつてまかなわれておりますが、平成九年度の中間処理費(洗却処理)と最終処理費(埋立処理)の合計は実に八億一千二百四十四万九千円。これをごみの排出量で割った処理原価はトン当たり一万三千八百七十四円もかかっています。この他にも収集運搬費や施設建設費などがかかっているわけですから、ごみ処理はいかに経費がかかるかご理解いただけたらと思います。

また、ごみを自家焼却することによるダイオキシン等の発生や不法投棄などにより、大切な環境に大きな影響を与えており、安全かつ地球環境にやさしい処理・処分を行うためには、最新の技術と多額な経費がかかることを認識して

表1 圏域全体のごみ処理経費と処理原価の推移

年度/区分	処理経費(千円)	ごみ処理量(t)	t当たり処理経費(円)
平成5年度	796,543	54,931	14,501
6年度	823,249	54,378	15,139
7年度	879,628	55,828	15,756
8年度	839,316	57,769	15,394
9年度	812,449	58,559	13,874

収集運搬費・市町記債償還負担額は含まれていません。

表2 ごみ指定袋料金表

種類	サイズ(cm.)	総容量(リットル)	有効容量(リットル)	平均容量(kg/袋)	料金(円)	
可燃ごみ	大	50×70	35	25	5	40
	小	40×50	20	14	3	25
不燃ごみ	大	65×80	52	36	4	40
粗大ごみ	小型・中型・大型・特大の3分別料金は300円から900円					
(参考) 現在の燃やごみ袋	65×36.5	23.7	16.6	3.3	20	

もらうことが必要になっていきます。

## 来年四月一日から

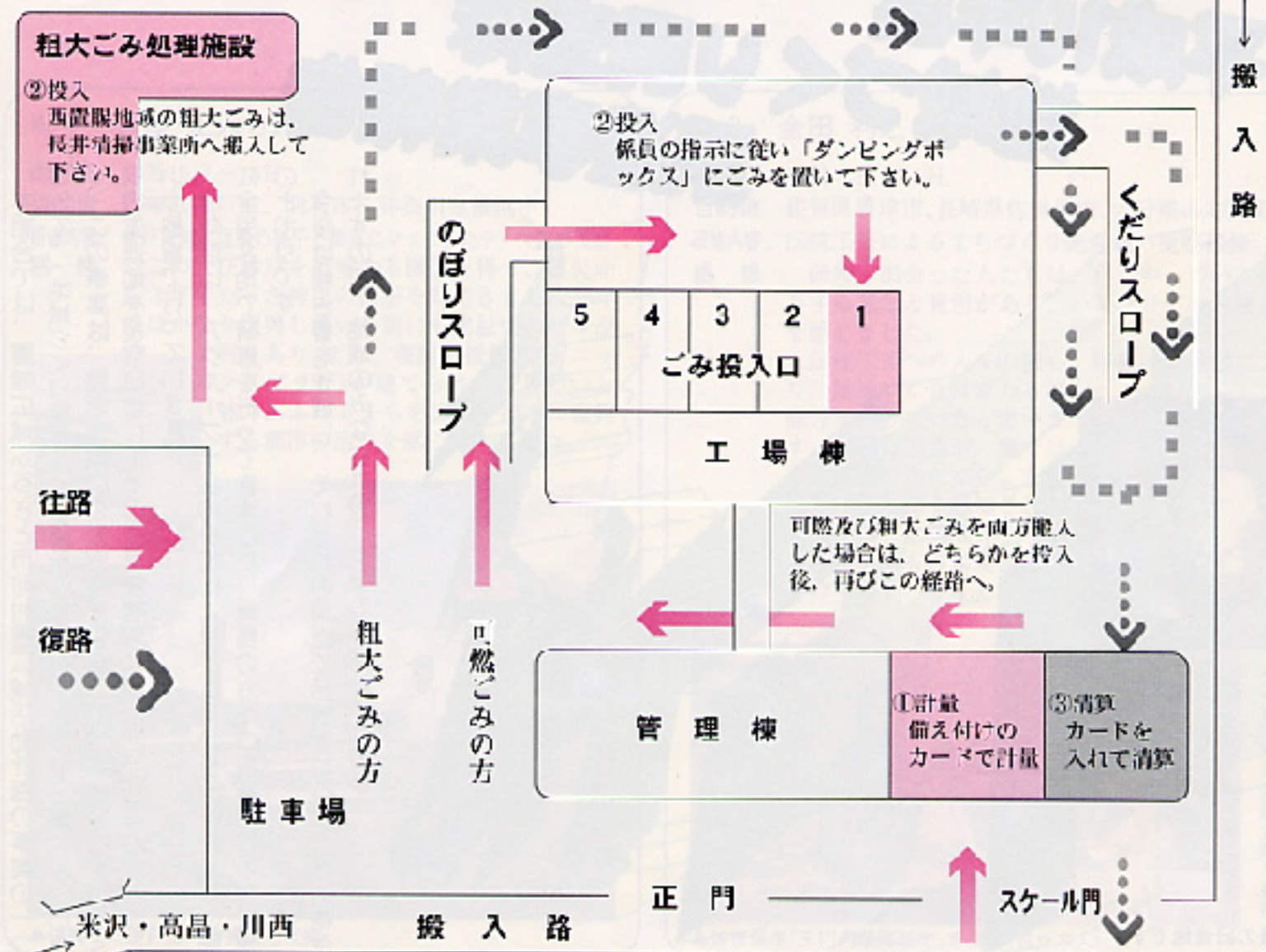
## ごみ有料化

このようなことから、本組合では、平成七年六月に「ごみ処理基本計画」を策定し、中長期にわたるごみの適正処理について方針を示しました。この中で指定ごみ袋

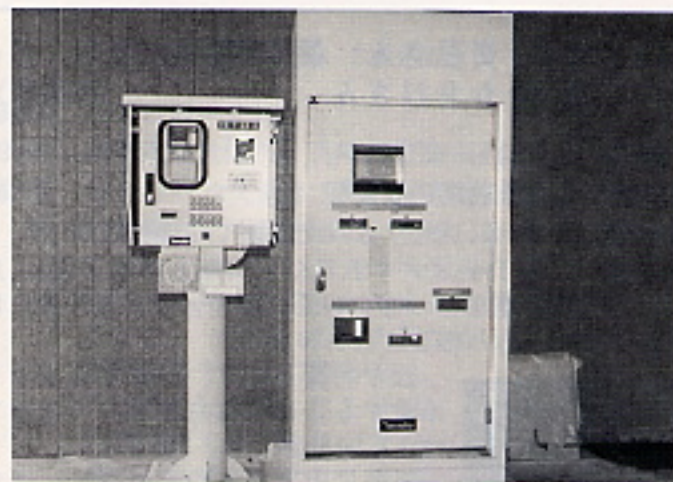
の導入と処理手数料徴収について平成九年五月、三市五町の各衛生士幹及び衛生士査をメンバーとする「ごみ指定袋・有料化の検討委員会」が設置され、検討してきました。その結果、①ごみ指定袋を統一すること、②有料化は必要であること、③実施目標は平成十一年四月一日とすることが確認され今年八月に理事会の承認を得て、去る十一月十六日の本組合議会で可決されました。

この結果、来年四月一日から、ごみの有料化がスタートします。各世帯はごみ指定袋(四月一日から販売)を購入し、ごみを出していただくことになりました。これに先立ち三月口に可燃・不燃各一枚のごみ指定袋を無料で圏域全世帯に配布いたします。これが使い終わったら、最寄りのごみ指定袋取扱店(これから指定)からごみ指定袋を購入していただくこととなります。(料金は表2のとおり)

また、可燃ごみや不燃ごみにスプレー缶やガスを抜かないボンベ、劇物などの処理不適物のごみの中に混入していることもあります。これは、一歩間違えれば生命に関わる悲惨な事故にもつながりかねないことから中身の見える透明もしくは半透明の指定袋にすることにより、事故の未然防止や施設の破損防止、維持保全を図ります。なお、工場、飲食店、スーパー、



ごみ投入口。  
「1」の手前があるのがダンピングボックス



出入口に設置してある計量機

### 地球環境を守ろう

生活様式の多様化や消費意識の変化などにより、排出されるごみは多岐にわたっています。国では、平成九年四月、「容器包装リサイクル法」を施行し、ごみの減量とリサイクルの推進を図っています。特に、ごみの排出を少なくすることは国民一人ひとりの意識と取組みに関わることから国民、事業者、行政が一体となって進めることが必要とされています。

商店、事業所などからの事業系廃棄物は、家庭用のごみ収集所に出すことはできません。直接清掃事業所に搬入するか、許可業者に依頼して処理してください。この場合、指定袋を使用する必要はありませんが、家庭から出されるごみと同じように分別をし、ごみの減量とリサイクルの推進、ごみの排出抑制にご協力をお願いします。

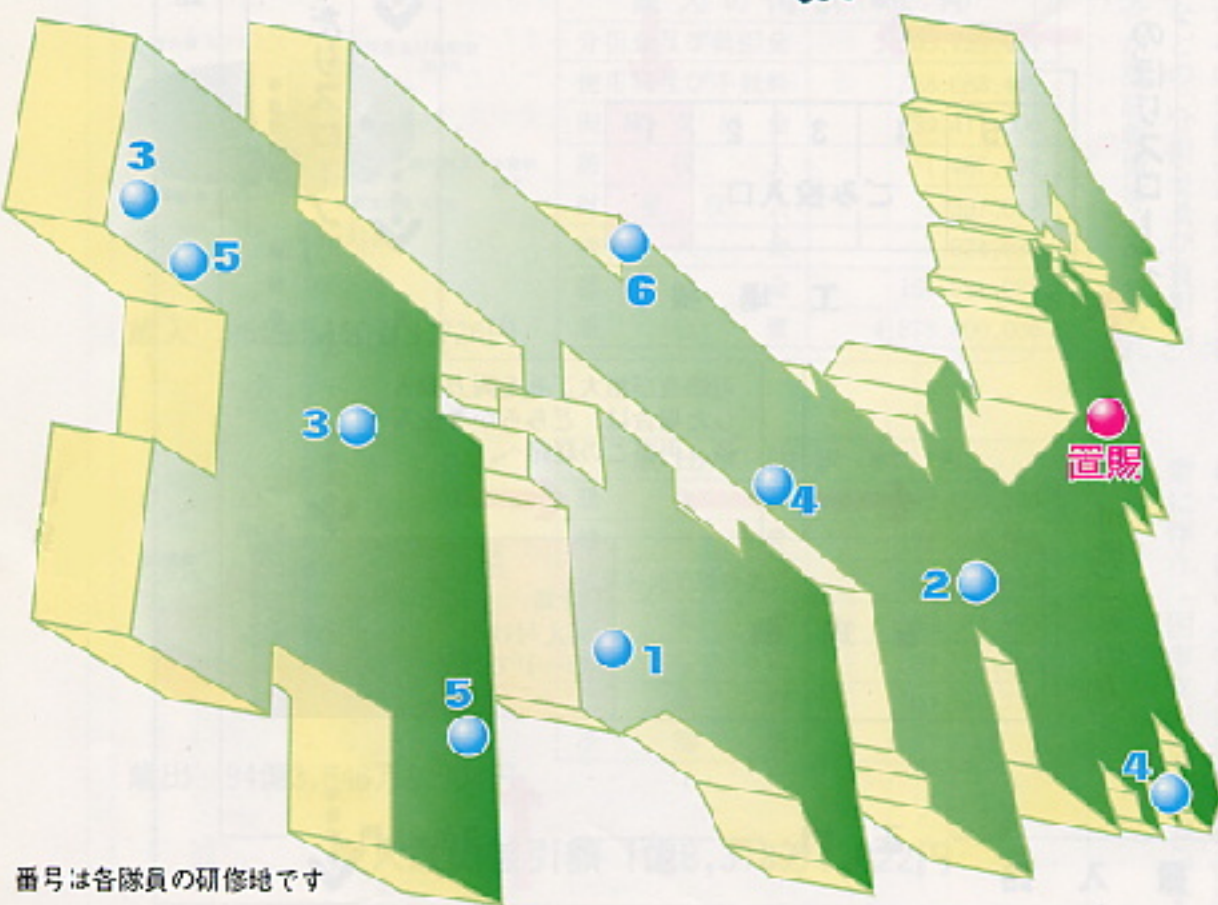
これらを進めるには、まず、ごみを減らすために各市町で実施している「ごみの分別回収」に協力し、リサイクルを推進しましょう。ごみの自家焼却や野焼きはダイオキシンが発生する恐れがあるのでやめましょう。不法投棄は環境汚染の原因になります。こうした意識の改革と実行がごみ減量につながり、地球環境を守ることになるのです。

# 平成10年度 地域づくり調査隊 派遣事業報告

本組合では、青森県域ぐるりと市町村選定区域活動計画の事業の一つとして、「地域づくり調査隊派遣事業」を平成三年度から実施しています。この事業は、置賜地域に住む方々が自ら目的の地を決め、地域づくりの先進地を視察研修し、その成果を置賜地域で活かしてもらおうという趣意で行っています。

今年度は、ハグルン プ 名の参加により、九月から十一月までの間に全国各地で研修を行ってきました。隊員の方々の視察研修内容は次のとおりです。

今後は報告書を作成し、それぞれの地域で活躍されることが期待されますので、地域のみなさまのご支援もお願いいたします。



番号は各隊員の研修地です

## No 2 小林 貴弘さん、橋本 聡さん、 大西 かおりさん (高森町)

研修期間 9月24日～27日

目的地 愛知県設楽郡設楽町

研修内容 グリーンツーリズム先進地での体験研修

感想 グリーンツーリズムを作り上げる過程は、農村と都市との絆を強固に縫い合わせる作業に似ていると感じた。(小林さん)

頭で判断したり、計算するよりも、体験することに重点を置いて生きてゆきたいと感じた。(橋本さん)

都会に迎合するのではなく、田舎の良さを体験できるような場やきっかけ作りを実際にやることは、本当に大変だと感じた。(大西さん)



▲ユースホステル前で(橋本さん)



▲設楽農学校の農場で研修(中央が大西さん、右が小林さん)

## No 1 齋藤 敏明さん (南陽市)

研修期間 9月5日～8日

目的地 高知県幡豆郡十川村

研修内容 地域資源を生かした事業と、情報発信の体験実修

感想 9月に高知県の山村に行ってきた。目的はどうあれ自分ひとりで知らない土地での研修に参加するという行動を起こした事。地域で活躍している人のパワーを肌で感じた事。とりあえずは「自分のため」ですが、有意義な研修でした。



▲四万十ドラマ事務所を訪問(左が本人)



▲四万十川の風景(西十佐村にて)

#### No 4 遠藤 正人さん (米沢市)

研修期間 5月15日～18日

目的地 兵庫県神戸市、明石市、神奈川県横浜市

研修内容 神戸近郊の復興の様子と都市にマッチしたテーマ館の視察  
感想 このたび神戸を視察する機会を得て、震災から3年半たった神戸の様子を見てきました。今ではかなり復興している街にも建設中のビルが所々あり、また、復興支援館(フェニックスプラザ)が建てられ、にぎわいと魅力あふれるまちを目指す神戸に復興する都市の活力を感じてきました。



▲復興した神戸市の中突堤を視察

#### No 3 余田 利之さん (白鹿町)

研修期間 10月8日～11日

目的地 佐賀県唐津市、長崎県佐世保市、大分県湯布院町

研修内容 伝統工芸によるまちづくり先進地の視察研修  
感想 研修で出会った人たちは、自らやっという意思と覚悟があり、ハングリーな力強さを感じました。

伝統工芸への人々の関心、積極的な参加により、地域づくりは変わる可能性を持っていると思います。置賜の工芸が、個ではなく連携できたなら、また人々により深く認知されたなら、それは地域づくりをより確かなものに変えていくのではないのでしょうか。



▲佐賀県唐津市隆太窯を視察



▲佐世保市「三ノ内神楽器市」を視察(右が本人)

#### No 6 齋藤 勝さん、石田 和弘さん、瀧口 宏さん (米沢市)

研修期間 11月12日～14日

目的地 鳥取県倉吉市

研修内容 商店街活性化の先進地視察

感想 ブロンズ像が駅からずっと商店街まで続いていた。市などがうまく盛り立て、協力しているのを感じてきた。(齋藤さん)

駅前広場の整備はかなり充実していたが、どの商店街も求心力が無くなってきている。キャラクターグッズの販売などには、自分たちの目的へのヒントが得られた。(瀧口さん)

米沢市でも地元民総出で企画・運営できるような、特徴あるイベントなどを考えなければならぬと痛感しました。(石田さん)



▲ブロンズ像前で瀧口さん



▲水木しげるロードを視察(左が石田さん、右が齋藤さん)

#### No 5 渋間 佳寿美さん (米沢市)

研修期間 11月3日～5日

目的地 長崎県佐世保市、宮崎県宮崎市

研修内容 テーマパーク先進地での運営と行政の関わりについて

感想 地域づくり調査隊に、実際に隊員として参加したことは、二つの点で有意義でした。まず、地域づくりのテーマパークと考えた地域の観光ができたこと。一方で、ただの観光ならば、施設の事務局の方やそれに関わる行政の方とお話するのも億劫ですが、それができたことです。そして施設や運営に携わる方の夢や苦勞を知ることができました。



▲宮崎シーガイアを視察



▲佐世保市役所企画調整課を訪問(中央が本人)

# ●●平成9年度決算報告●●

本組合の平成9年度一般会計及びふるさと市町村圏事業費特別会計の歳入歳出決算は次のとおりです。

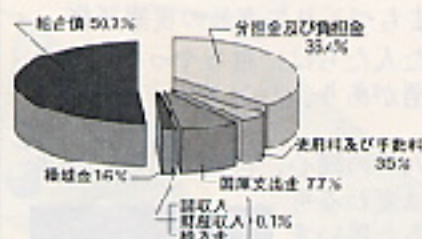
## 一般会計

歳入 九十六億二千六百六十六万五千七百二十六円  
歳出 九十四億三千八百四十八万三千九百四円

## 一歳入

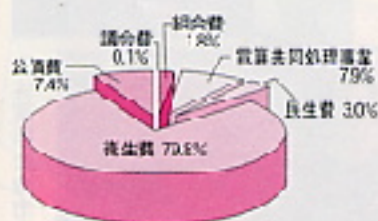
歳入のうち主なものは、置賜三市五町からの分担金や地方交付税措置分などの「分担金及び負担金」と本組合が施設整備等で借り入れ

分担金及び負担金	3,508,725,454
使用料及び手数料	338,083,440
国庫支出金	739,411,000
諸収入	1,487,492
財産収入	1,397,618
繰入金	7,574,636
繰越金	151,581,036
組合債	4,873,400,000



歳入 96億2,165万5,726円

議会費	2,080,730
組合費	172,483,352
電算共同処理事業費	747,329,885
民生費	283,234,893
衛生費	7,530,112,330
公債費	700,242,714
予備費	0



歳出 94億3,843万3,904円

歳入歳出差引額 1億8,318万1,822円

た「組合債」です。このほか本組合施設に対する「使用料及び手数料」や新ごみ焼却処理施設整備事業に伴う「国庫支出金」などです。

## 一歳出

歳出のうち主な事業として、最も決算額の多い衛生費では、各施設における人件費を含め、各施設全体の維持管理業務や新ごみ焼却処理施設整備事業などを実施しました。

この他、組合費では組合庁舎の維持管理業務や電算共同処理事業を、民生費では差込老人ホーム南陽やすらぎ荘の管理運営事業などを実施しました。

## ふるさと市町村圏事業費特別会計

### ※花と人材育成事業を実施

「花咲き人成るいきいき置賜」をキャッチフレーズに、花と人材育成に係るソフト事業を展開しているふるさと市町村圏事業費特別会計の決算額は、歳入一千八百六十六万二千二百四十八円、歳出八百一十一万八千七百九十四円となりました。

歳入のうち主なものは、ふるさと市町村圏基金(十億円)の果実(利子)である「財産収入」が八百三十三万九千二百九十九円、「繰越金」が五百六十八万三千五百九十九円などです。

一方、歳出のうち主なものは、広域広報の発行など置賜花だより事業費二百六十二万八千三百六十三円、広域観光案内板の維持管理など置賜サイン計画事業費百五十八万一千六百円、フラーイー探検隊派遣事業(海外研修)などの人材育成事業費が二百四十九万四千五百六十三円などです。

この結果、歳入歳出差引額は、一千四百四万三千四百五十四円となり翌年度に繰越しました。



フラワー探検隊派遣事業

## 処理量の内訳

内訳	処理量	対前年比
し尿処理量	97,427ℓ	2.0%減
焼却ごみ処理量	46,303ト	0.1%増
破砕ごみ処理量	12,330ト	8.3%減
埋立ごみ処理量	12,385ト	13.7%減
死亡獣畜処理頭数	486頭	(頭減)

# おきたま

## ニュース

### 十一月定例会を開会

#### ごみ処理の有料化などを可決

本組合十一月定例会は、十一月十六日に開かれました。この議会では、まず平成九年度一般会計及びふるさと市町村圏特別会計歳入歳出決算の二議案が上程され、原案どおり承認されました。

次に、ごみ処理の有料化を含む本組合手数料の徴収等に関する条例の全部を改正する条例案及びごみ処理の有料化に伴う補正予算を含む本組合一般会計の補正予算案が審議され、反対意見も出されましたが賛成多数で原案どおり可決しました。

### 置賜広域行政事務組合指名競争入札参加者登録申請について

建設工事、設計・測量コンサルタント、物品納入及び役務提供の指名競争入札参加を希望する方は、次の要領で申請して下さい。

- 一 受付期間 平成十一年二月一日(月)～二十六日(金) (郵送の場合 は当日消印有効)
- 二 有効期間 平成十一年・十二年

### 変の二か年度 二 受付場所

米沢市金池三丁目一番五五号  
置賜広域行政事務組合事務局総務課

### 四 申請に必要な書類 山形県統

一様式又は建設省指定様式(物品納入及び役務提供については事務局総務課及び当組合事業所(本社)で申請書及び提出要項を準備していただきますので利用して下さい。)

### 五 問い合わせ先 事務局総務課

庶務係 〇二三八(二三三)三二四六  
※なお、本組合に申請された方は、左記の全施設に適用になります。

事務局・米沢クリーンセンター・長井清掃事業所・八百里レーゼンター・南陽クリーンセンター・両陽やすらぎ荘・小国清掃事業所・千代田清掃事業所(千代田クリーンセンター)・死亡獣畜保冷センター

### 長井ダム転流工起工式 開催される

長井ダムでは十一月六日、転流工(ダム建設のために置賜野川の流れを切り替える長さ六七二m、内径五・七mのトンネル工事)の起工式が行われました。

起工式には建設省をはじめ関係者約百五十人が出席し、記念発破、工事計画説明、長井ダム

キャラクター紹介、地元平野小学校による「水のふるさとメッセージ」発表などが行われました。転流工が完成すると本体工事が可能となり、長井ダムは完成に向けて大きく動き出しました。

### 暮らしに役立つ

#### 「年金還元融資施設」

みなさんが納めている国民年金や厚生年金の保険料は、将来の年

### 一月(睦月)

一日 元日マラソン (川西町)

一五日 大日知未わらじみこし (高島町)

一五(一) ふるさといいで 里帰りツアー (飯豊町)

一七日 飯野観音初十七堂祭 (米沢市)

七月 飯野観音初十七堂祭 (飯豊町)

### 二月(如月)

上旬 ビーんと冬まつり (長井市)

一三(一) 上杉雪灯籠まつり (米沢市)

二〇日 '99スノーボード フェスティバル in 横根 (小国町)

下旬 中津川雪まつり (飯豊町)

## おきたまごよみ

金支給に備えて積み立てられています。その一部が年金還元融資施設としてさまざまな公共施設の工事費などに役立てられています。本組合でもこの融資を受けて、次の施設整備を行いました。

◎(仮称) 清掃センター  
ごみ焼却処理施設整備事業  
融資額 五、二七〇、八〇〇千円  
◎長井清掃事業所し尿処理  
施設基幹的施設整備事業  
融資額 二、三九、二〇〇千円

三月(弥生) 雪の学校 (小国町)

四月(卯月) 「桜まつり」釜の越校 ライトアップ (白鷹町)

下旬 米沢上杉まつり (米沢市)

五/三

▽▽お問い合わせ△△

米沢市観光物産課 〇三三八(三三五)二二〇  
長井市観光物産課 〇三三八(八四三)二二〇  
南陽市観光物産課 〇三三八(四〇三)二二〇  
高島町観光物産課 〇三三八(五二二)二二〇  
川西町観光物産課 〇三三八(四三二)二二〇  
白鷹町観光物産課 〇三三八(八五二)二二〇  
飯豊町観光物産課 〇三三八(七三二)二二〇  
小国町観光物産課 〇三三八(六三二)二二〇

# 道の駅白い森おくに「ぶな茶屋」

(小国町)

小国町の国道一三二号沿いにある横根スキー場一帯が、道の駅白い森おくに「ぶな茶屋」として十月九日にオープンしました。この一帯は、これまで横根スキー場やレストラン「ぶなの家あいあい」、特産品直売所、駐車場、トイレなどを段階的に整え、一年を通して多面的な交流が展開できる空間として整備してきました。

今回、新たに道路情報コーナーのほか、「小国総合案内所」の機能を整備し、小国町を訪れる人びとに対して、地域の文化や歴史、名所などを詳しく紹介しています。国道脇に立つ高さ十三メートルの木の本の看板が目印です。気軽に立ち寄りください。(お問い合わせ先)

白い森おくに「ぶな茶屋」  
TEL&FAX 〇三三八(六二)四七二四



## 花自慢

平成一〇年八月十九日撮影

米沢市九ノ内二一三、一三

佐々木 清子さん

「四年前から育てている超大輪の朝顔」



平成一〇年九月二一日撮影

川西町三宮大塚一、八〇四

須貝 喜美男さん

「種から育てたサルビア、インパチエンスなど家の周りは花がいっぱいです」



平成一〇年九月二一日撮影  
白鷹町大字高玉四、二四四、一  
金田 志げさん  
「四年前に植えたエンゼルス  
トランペット。花の数はなんと二二〇株」



花自慢したい方はご連絡下さい。

連絡先 米沢市金池3丁目1-55  
置賜広域行政事務組合事務局総務課企画係  
TEL 0233(23)3246 FAX 0233(24)4629

## 花たち



セントポーリア

花言葉「敏感」

・ノワタバコ科 春ま

たは秋植え(宿根草)

・開花期間 周年

・殖やし方

葉挿し、挿芽

私はセントポーリア。一年口花が咲いて、小柄で場所をとらないからお部屋の花として人気があるの上。私と一緒に過ごすには、直射日光を避けて、明るい窓辺に置いてね。それから冬の間は、お部屋の温度が10度以下にならないように、そして乾燥させないようにしてもらえればいいかな。

ね、わりと簡単でしょ。それじゃ、すうっとあなたのそばに置いててね!

## おきたま研究所だより

「置賜のさくら'98写真コンテスト」の表彰式及び巡回展を実施

本組合が実施している人材育成事業で派遣された有志が、広域的な地域づくりを目指して組織している「おきたま研究所」では、今年度事業の一つとして、地域資源である「置賜のさくら」を題材にした写真コンテストを実施しました。

この入選作品の巡回展が去る10月1日の高島町を皮切りに、白鷹町、米沢市、小国町、飯豊町の順に開催し、10月24日には表彰式を行いました。また、最優秀賞五点と入選作品三点の計八枚一組の絵葉書を作成し販売を開始しました。今後も長井市、南陽市、川西町において巡回展を開催しますので是非ご覧ください。



表彰式のようす (よねざわ市民ギャラリー・ドリームにて)